

## 平成26年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	土屋尚代
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>	-			<b>内線</b>	3615
<b>事務事業名</b>	4263 小学校教育振興事業										
<b>所 属</b>	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
<b>施 策</b>	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	100202 教育費・小学校費・教育振興費									
	<b>事業</b>	010000 小学校教育振興事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備を図る。						教科書や学習指導に合った教材を使用することで、わかりやすく、より深い学習を行うことができるため、教材備品の整備をする。					

**PLAN-DO**  
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備
平成26年度 予定	平成27年度 予定
教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備	教育効果を高めるための教材消耗・教材備品・学校図書館の蔵書の整備

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		19,733	41,177
特定財源	国庫支出金	1,006	1,103
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		18,727	40,074
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,371.6	1,371.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,371.6	1,371.6
市民一人当たりの経費		0.4	0.8
総額		21,104.6	42,548.6

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	380	謝礼
11節 需用費	5,581	消耗品
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	13,772	手数料、備品購入費等

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	440	謝礼
11節 需用費	26,800	消耗品
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	13,937	手数料、備品購入費等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	各種教材備品の整備を行い、教育効果の高めるため、	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	教育効果の高めるため、各種教材備品の整備を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	教育効果・効率性を高めるため、各種教材備品の整備を行っている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

教育効果の高めるため、各種教材備品の整備を行った。  
 図書館教育の充実のため、蔵書の整備を行った。  
 標準学力テストを実施（小学校1年生は除く。）し、基礎・基本の学力の定着の確認と今後の指導に活かした。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
一般教材備品、理科教材備品、図書館蔵書を整備し、教育環境の充実を図った。		教材備品や図書蔵書を整備することで、教育環境の充実を図ることができた。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	